

科目名	開講年次	開講期	単位数	科目区分
英語I	1	前期	1	全学共通・必修
担当者名(ふりがな)	学生との連絡方法			
(すずき、まるけす、あくつ、ふなばやし) 鈴木(政)、マルケス、阿久津、船林	授業支援システム:UniProve(IT's Class)を活用する他、授業の初回時に連絡、説明します。			

(英文科目名 Basic English Conversation I)

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	汎用的技能	態度・志向性	総合的な学習経験と 創造的思考力
○	◎	○	

授業の概要

講義により英語に関する基礎的な知識を理解を進めます。これをもとに、具体的な場面を想定した英語表現を練習します。英語によるやりとりだけでなく、自律した英語学習を進めるためのスキルの指導も行います。2回の授業で1つのテーマを取り上げます。1回目の授業では授業者主導の授業、2回目は受講生自らが1回目の授業で学んだことを再現できるように配慮します。こうした授業展開により、知識・スキルが定着したかを受講生自身に確認してもらいます。日本語における語彙や文構造との対比し、これを重視しながら英語を学びます。スマホやPCを使用した自律学習のスキルに関する知識を定着させます。

科目の位置づけ

大学入学前に学んだ英語の知識をもとに、基礎的な英語の運用能力を身に付けます。1年間で学ぶ内容は、学外の活動(国際映画祭等のボランティアやホテル等での研修)を想定しています。英語Iで身に付ける知識やスキルは、1年次後期に受講予定の初級英会話に引継ぎ発展させます。基礎的ではありながら実践的な場面で英語を使う基礎となります。

到達目標

テキストに示された10の文構造とスキルを使えるようになること。英語運用能力を支える基礎的な語彙、サービス経営に必要な基礎的な語彙に習熟すること。

授業の方法・講義手法の概要

講義および演習(グループワーク、ペアワーク、および個人発表等)

授業計画

回	内容	事前学習/事後学習
1	オリエンテーション(半期の授業概要、身に付けるべきスキル等)	事前学習:シラバスを熟読する(60分) 事後学習:オリエンテーションのまとめ(60分)
2	英語学力到達度の確認(1)	事前学習:テキストの通読(テーマ1~3)(60分) 事後学習:テキストの通読(テーマ4~6)(60分)
3	テーマ1 自分について語る(基礎編)(1)	事前学習:テキストテーマ1 語彙・文型(60分) 事後学習:テキストテーマ1 スキル復習(60分)
4	テーマ1 自分について語る(基礎編)(2)	事前学習:テキストテーマ1 発表準備(60分) 事後学習:テキストテーマ1 発表振り返り(60分)
5	テーマ2 初めての出会いの場面(基礎編)(1)	事前学習:テキストテーマ2 語彙・文型(60分) 事後学習:テキストテーマ2 スキル復習(60分)
6	テーマ2 初めての出会いの場面(基礎編)(2)	事前学習:テキストテーマ2 発表準備(60分) 事後学習:テキストテーマ2 発表振り返り(60分)
7	テーマ3 相手をほめる場面(基礎編)(1)	事前学習:テキストテーマ3 語彙・文型(60分) 事後学習:テキストテーマ3 スキル復習(60分)
8	テーマ3 相手をほめる場面(基礎編)(2)	事前学習:テキストテーマ3 発表準備(60分) 事後学習:テキストテーマ3 発表振り返り(60分)

9	振り返り(1)半期前半を通じて身に付けたスキルの定着確認と成果の交流	事前学習:テーマ1～3までのスキル復習(60分) 事後学習:振り返りのレポート作成(60分)
10	テーマ4 道案内:屋内(基礎編)(1)	事前学習:テキストテーマ4 語彙・文型(60分) 事後学習:テキストテーマ4 スキル復習(60分)
11	テーマ4 道案内:屋内(基礎編)(2)	事前学習:テキストテーマ4 発表準備(60分) 事後学習:テキストテーマ4 発表振り返り(60分)
12	テーマ5 道案内:屋外(基礎編)(1)	事前学習:テキストテーマ5 語彙・文型(60分) 事後学習:テキストテーマ5 スキル復習(60分)
13	テーマ5 道案内:屋外(基礎編)(2)	事前学習:テキストテーマ5 発表準備(60分) 事後学習:テキストテーマ5 発表振り返り(60分)
14	英語学力到達度の確認(2)	事前学習:語彙および文構造の復習(60分) 事後学習:テストの振り返り(60分)
15	振り返り(2)半期後半を通じて身に付けたスキルの定着確認と成果の交流	事前学習:テーマ4～6までのスキル復習(60分) 事後学習:振り返りのレポート作成(60分)

成績評価の方法・基準

知識の定着よりもスキルの定着や参加度を重視して評価します。語彙・文構造およびスキルの定着度合い(20%)、ペアワーク、グループワークおよび個人発表の状況と課題の提出率(60%)、2回の授業内テスト(20%)。

指定教科書、参考文献等

Hospitality English (仮題)

履修上の留意点

スキルの定着や授業中の取組を重視して評価をします。積極的な参加を求めます。授業や課題に関する指示は UniProve 等ですので、見落としのないように心がけて下さい。日本人学生と留学生は互いに協力し合い 授業に参加してもらいます。日本人学生と留学生が隣同士になるように座席指定を行います。